



平成18年5月11日

各位

会社名 株式会社J-オイルミルズ  
 代表者名 代表取締役社長 佐々木 農二  
 (コード番号: 2613 東証・大証第1部)  
 問合せ先 取締役兼専務執行役員  
 榎田 純和  
 (TEL 03-5148-7100)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年11月21日の決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期連結業績予想数値の修正(平成17年4月1日~平成18年3月31日)  
 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	172,000	8,200	3,300
今回修正予想(B)	170,000	9,200	4,700
増減額(B-A)	2,000	1,000	1,400
増減率(%)	1.2	12.2	42.4
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	179,262	5,024	2,258

2. 平成18年3月期単独業績予想数値の修正(平成17年4月1日~平成18年3月31日)  
 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	159,000	6,000	1,400
今回修正予想(B)	157,000	7,100	2,700
増減額(B-A)	2,000	1,100	1,300
増減率(%)	1.3	18.3	92.9
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	123,067	3,385	1,491

前期実績には、平成16年7月1日に合併する以前の各事業会社の数値を含んでおりません。

### 3. 修正の理由

平成18年3月期につきましては、中期経営計画のコストダウン施策の成果が年度目標を上回る結果となり、利益改善に大きく寄与いたしました。また販売面では、人気アーティスト「PUFFY」を起用したTV広告など、積極的な販促活動を実施した効果により家庭用市場でキャノーラ油が伸長した事、業務用市場でも提案型営業効果により高付加価値型商品群が伸長しました。その結果、営業利益及び経常利益が予想を上回りました。さらに中期経営計画のコストダウン施策の実施に伴い発生する、生産拠点再編費用などを主とする特別損失が、当初見込額を下回りました事も影響し、単独及び連結の当期利益が予想を上回る事となりました。

以上のことから、平成18年3月期業績予想を上記のように修正をいたしました。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上